

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎！

断じて許さない！ 名札口実に選別不当処分 怒りの反撃 報復の復讐

不貫徹！ 反動局長・課長・区長

「恵賃現場転制」は必ず責任をとりなせ

われわれは、腹の底からの怒りをおさえることができない。十一月七日、千葉鉄当局は、駅助勤へ行っているわが勤労千葉の組合員四十三名に対し、名札を口実とした不当処分を強行してきた。団交確認を一方的にふみにじり、ただただ差別と選別のみを狙った処分を断じて許すことはできない。あらゆる手段で怒りの反撃にたて。

スト潰しを狙った

勤労千葉への選別的処分

千葉鉄当局は、この間、団交確認に基き駅助勤に出ている運転の労働者に対し、名札、ネクタイ、を着用しなければ仕事につかせない、処分すると連日どうかつをかけ、警告書を出し、あるいは所属区の職制を導入し、何とか屈服させんとしてきた。

あげくに、こうした理不尽極まりない攻撃にたいし不屈に闘う勤労千葉の若き仲間に対して、約束した期間がすぎても現場に帰さないという団交確認を無視した暴挙を強行してきた。

しかし、当然のごとくわが仲間が屈しないことにおいつめられた当局は今回、八十三名の駅助勤者のうち勤労千葉の四十三名のみを選別的に不当処分を下してきたのだ。こんなことが許せるか！まさに、勤労千葉の闘いへの反動的挑戦である。われわれは、断固受けてたつ。

反動的挑戦うけてたち

制約なしの怒りを叩きつけよ

いったい、団交確認は何だ。1、出勤期間が六カ月、乗務員は三カ月にできるだけ近づける。2、業務内容は通勤対策、特別改札、旅行センター補助、3、区において要員に欠が生じた場合は引き上げる。ということではないか。このうち、一つでもまともに実行している

のか。

やったのは、駅助勤にからむ学園教育の過程で、永島、行川両君を全くデタラメな理由で不当処分し、駅助勤者を連日どうかつし、処分を下しただけではないか。

当局が、労使で決めたことを一方的に反古にする以上、われわれも、自らを守るためには一切の制約を取りはらい闘う以外ない。

43名の仲間を守りぬぎ

十二月ストをきぶちぬぐぞ

ネクタイ、名札でサービス向上だと、寝呆けるな！当局自らが十月九日の合理化提案で、十二万人を合理化すると公言しているではないか、運転士を二人に一人減らし、駅員も三人に一人減らしてどうして安全やサービスがまもれるんだ。

”ネクタイ、名札を着け、接客六大用語で言葉使いを良くし、笑顔でお客様に乗ってもらい、しかし、ホームから客が落ちようが、事故が起きようが知らん振り” こういうのをサギと言った。

しかも、いかに労働者が当局にこびへつらおうが、二人に一人は首を切ると言ってはばからない。ナメルのもたいがいにする。

労働者を処分し、首切りのための選別をし、自らの成績を上げ助かるうなどと考えている当局を絶対に許しはしない。

全職場で当局への怒りを叩きつけよう。一切の怒りを解き放ちあらゆる手段で反撃しよう。四十三名を必ず守り、十一月ストへ決起せよ。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！